

蒲郡市東港地区まちづくりビジョン（案）へのパブリックコメント実施結果

募 集 期 間	令和3年7月5日～令和3年8月3日
担 当 課	建設部 東港地区開発推進室
実 施 方 法	(1) 市ホームページに（案）を掲載して意見募集 (2) 東港地区開発推進室カウンター、情報公開コーナー、公民館へ（案）を掲示して意見募集
意見の提出方法	直接持参、郵便、FAX、電子メール
提 出 意 見	1名7件（電子メール）

(案) に対する意見

No	提出意見	市の考え方
1	<p>P29 「①海辺のみなとエリア」という部分で、竹島埠頭辺りから水族館に近い場所（ベイパークからさらに南へ行ったところまで）までのエリアがバルセロナの「バルセロネータ」に近い地形をしていますので、そうした港町で観光地としても賑わっている参考例をもっと取り入れてみてはいかがでしょうか。</p> <p>この「バルセロネータ」では海側に砂浜、現在の堤防沿いには竹島周辺エリアに向けての広々とした直線的な遊歩道とヤシの木を設置し、ベイパークから南側にかけてはレストラン街を建築することで、必然的に人々の動線がそのレストラン周辺まで足を運ぶようになるのではないのでしょうか。一度この「バルセロネータ」という場所を検索し、参考にしてみてください。</p>	<p>空間デザインや施設の計画などの具体的な土地利用計画につきましては、今後、専門家や民間事業者の方々にもご協力いただき実現性のある計画を検討していきたいと考えております。</p> <p>頂きましたご意見も参考にさせていただきます。</p>
2	<p>P30 「②エリア内の将来イメージ」という部分で、多目的活用かつアクティビティ空間の創出という中で、スケボーパークの将来イメージが掲載されておりましたが、こうしたエリアでスケボー施設を建設するのは安易な発想だと思います。スケボー競技者層は夜遅くまで大騒ぎをしたり、大きな音を出したりと正直マナーの良いと</p>	<p>ここで示しているのはあくまでイメージであり具体的な計画ではありません。市民の皆様が望まれる公共空間の使い方や姿を実現していく場合、市民の方々によるまちづくり活動などにより実現に近づいていくことも考えられることを例として示しているものです。頂きましたご意見のとおり、迷惑と</p>

	<p>は言えませんし、その周辺にトイレやゴミ箱、休憩エリア、駐輪場などをしっかり考慮されていないければ、迷惑な施設になりかねません。観光資源の一部にも担うこのエリアではこうしたハードは不要だと考えます。</p>	<p>なるようなものができてしまうことは望ましくないため、社会実験などにより試みることや地域の方々との合意形成を図りながら海辺の空間をより良いものにしていきたいと考えております。</p>
3	<p>P31 「多目的な活動ができる広場」という部分でピクニックをしているような将来イメージが掲載されておりましたが、この中には人工的に木々を植えています。このエリアは「海辺が見える」というのが絶対的な価値でありますので、それを遮るような木々は不要だと考えます。これではせっかくの海辺が見えなくなってしまうし、これだと海岸沿いエリアじゃなくてもどこか街中の公園でも良いと思います。</p>	<p>現状このエリア内で竹島ふ頭緑地においては植樹がされており、日常の散歩などにご利用いただいている状況もございます。また、エリア内で過ごしていただく中で、海を感じていただくことは重要であると考えております。その一方、過ごしていただく中で、ある程度の木陰が望まれることも考えられますので、具体的な計画につきましては、皆様のご意見もいただきながら検討してまいりたいと考えております。</p>
4	<p>P34 「竹島埠頭等を活用した民間施設の立地」というところで、イメージ図がありますが現状の名鉄観光船の発着跡地の状態よりは遥かに良くなっていますが、もっと良くするためにサンフランシスコの「フィッシャーマンズワーフ」というエリアを参考にしてみてもどうでしょうか。この「フィッシャーマンズワーフ」は地元のお土産ショップや地元食材を使ったご当地名物が食べられるお店などを1カ所に集めたような場所になります。もちろん、そこから船の発着もしていますのでまさに「港版の道の駅」という感じのところになります。石垣島などの乗船場でもちょっとした観光案内所やお土産屋はありますが、その規模のイメージではなくここで示されているイメージ図の建物が埠頭の付け根辺りまで長細い建物があるイメージとなります。こちらもサンフランシスコの「フィッシャーマンズワーフ」という場所を検索してもらえれば一目瞭然だと思います。</p>	<p>蒲郡市においては、市域東西方向に渡って海に面しており、東港地区だけではなく、各地域においてもその魅力を活かしたまちづくりができる環境にあることから、これまでも「フィッシャーマンズワーフ」という考えは東港地区に限らず出てきております。その中で、市域を見渡して、それぞれの地域の役割や特色等も考慮し、民間事業者の視点で見た市場性などの意見、また市民の方の意見もいただきながら検討してきたいと考えております。</p>
5	<p>P36 「将来イメージに表す現時点の土地利用として想定する図」というところで、</p>	<p>現時点においては、あくまで想定される動線としてお示ししております</p>

	<p>主要回遊動線が描かれていますが、この動線をなぜ一直線にしないのでしょうか？一直線しつつその動線は遊歩道のように綺麗な路面かつ綺麗で明るい街灯を整備しつつ、韓国の明洞のように民間の飲食物販等もその長い遊歩道に等間隔で出店してもらい、人々の動きを竹島周辺エリアへ導くような戦略にしてみてもいいでしょうか。</p>	<p>が、ベイパークを含めて埋立地の土地の規模は相当の広さがあります。動線を例えば、一直線一本で考えた場合、動線に沿わない多くの余剰地が発生することも想定されます。いただいたご意見のように、人々の動きを竹島周辺エリアに導くような動線の設定とすることも重要であると考えております。また、竹島周辺エリアの将来の土地利用も考慮しつつ、具体的な土地利用計画と共に検討してまいります。</p>
6	<p>P41「6 エリアを結ぶ主要回遊動線」でも蒲郡駅周辺市街地エリアから竹島周辺エリアまでを一体の動線として考えられているのは良いのですが、可能な限りこの動線を直線化した方が見晴らしも良くなると思います。今のイメージ動線ではクネクネしすぎていて、その動線を実際にあるいても決して見晴らしが良く歩いても気持ち良い！という動線にはならないと思います。</p>	<p>主要回遊動線は、創造していく際の留意点として4つの事項を掲げさせていただいております。この留意点も考慮しつつ、動線上あるいはその周辺に、魅力的な施設や空間、様々なコンテンツが配置されることで、東港地区全体が日常的に過ごすことができる居心地の良い空間、あるいは人々の交流が生まれる重要な空間になり得ると考えております。いただきましたご意見である「見晴らしが良くて歩いても気持ち良い！」という点にも留意しながら検討してまいります。</p>
7	<p>全体として「シンプルかつ見晴らしが良い観光エリア」というコンセプトで、海外の港町のエッセンスがこの蒲郡で味わえる！となれば、観光資源だけでなく地元民としても魅力的なエリアになるのではないのでしょうか。いろいろな意見がある中で、どのような選択肢を選んでいくか？は公共エリアであればあるほど難しい選択となってしまおうとは思いますが、海岸沿いという素晴らしい景観を殺してしまうようなことだけはしないでいただきたいと思っています。</p>	<p>穏やかな三河湾に面した蒲郡市の魅力を活かして、市民の皆様に愛され、日常生活の一部として皆様に訪れていただけるような場所にしていきたいと考えております。</p>